

第16回 NCGM 国際感染症フォーラム

The 16th NCGM
International Infectious
Diseases Forum

開催日程

2023年9月29日(金)

15:00-17:45

プレゼンテーション形式
Online (ZOOM)

言語

日本語 / 英語 (同時通訳)

会費
参加費
無料

オンライン申し込みはこちら



オンラインからお申込み出来ない場合は、
NCGM 国際感染症フォーラム事務局までご連絡
お願いいたします。

テーマ

Update AMR 感染症

薬剤耐性菌感染症の動向と対策、そして新たな抗菌薬の開発へ

グローバルヘルス上の重要課題として、薬剤耐性 (AMR: Antimicrobial Resistance) 対策が取られていますが、その脅威は未だに解消されておりません。今回は国内外の先生方から臨床菌株の薬剤感受性傾向、多剤耐性菌対策、更には薬剤感受性試験や抗菌薬に関する最新の知見について、ご講演頂きます。

プログラム

15:00-15:07 開会挨拶

国土 典宏 先生 (国立国際医療研究センター 理事長)

15:07-17:37 シンポジウム

座長： 国立国際医療研究センター 臨床研究センター センター長 杉浦 互 先生

国立国際医療研究センター 国際感染症センター センター長 大曲 貴夫 先生

第1部：薬剤耐性菌感染症の現状と課題

15:07-15:27

我国におけるAMR臨床リファレンスセンターの役割と取り組み

松永 展明 先生

(国立国際医療研究センター病院 AMR 臨床リファレンスセンター 臨床疫学室長)

15:27-15:47

インドネシアにおける薬剤耐性菌の現状と課題

アニス カルニアワチ 先生

(インドネシア・インドネシア大学 教授)

15:47-16:07

ベトナムにおける薬剤耐性菌の現状と課題

ヴコク ダット 先生

(ベトナム・ハノイ医科大学 講師)

第2部：検査法、対策事業、抗菌療法と新たな抗菌薬

16:07-16:27

薬剤感受性試験の問題点と適切な試験方法

塩沢 剛 先生

(栄研化学株式会社 研究開発統括部 応用技術研究所課長)

16:27-16:57

AMR 病原体サーベイランスと薬剤耐性菌バンク

菅井 基行 先生

(国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター センター長)

16:57-17:27

抗菌薬療法の今日と未来

土井 洋平 先生

(藤田医科大学 微生物講座・感染症科 教授)

17:27-17:37 総括

大曲 貴夫 先生 (国立国際医療研究センター 国際感染症センター センター長)

17:37-17:40 次回フォーラムのご案内

NCGM 国際感染症フォーラム事務局

17:40-17:45 閉会挨拶

杉山 温人 先生 (国立国際医療研究センター センター病院長)

NCGM 国際感染症フォーラム事務局

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

臨床研究センター インターナショナルトライアル部

TEL: 03-6228-0445 FAX: 03-6228-0486

e-mail: kansensho-forum@hosp.ncgm.go.jp